

# JPIC NEWSLETTER

通巻 242 号

2023 年 3 月 9 日

## 「マンガ感想文コンクール2022」 授賞者決定

3月4日（土）13時より出版クラブホール（千代田区）にて「マンガ感想文コンクール2022」授賞式を行いました。このコンクールは、優れたマンガ作品に触れ感想文を書くことで、子どもたちの学習や読書を楽しむための入り口に繋がりたいと、2021年度にテスト開催、今期から全国規模で本格的に開催しました。



会場に集まった授賞者

応募総数は12,131通。1次審査（審査員：JPIC読書アドバイザー/明治大学 学生）、2次審査（同：秋田書店、KADOKAWA、講談社、集英社、小学館、リイド社のマンガ編集者）を経て1月23日（月）に最終審査が行われ、各部門計5作品のグランプリと14の優秀賞作品が決まりました。また団体賞は、応募数、作品内容を考慮して9団体を選定。授賞式では、グランプリ受賞者から「このような賞を受賞できるとは思っていなかった」と喜びのコメントをいただいたほか、第3次審査員を務めた甲斐雄一郎さん（文教大学教授）、藤本由香里さん（明治大学教授）、町田守弘さん（早稲田大学名誉教授）、ブルボン小林さん（コラムニスト）、中野博之さん（集英社週刊少年ジャンプ編集長）、萩原綾乃さん（小学館 ちゃお編集長）から、1つ1つの作品に対する講評や総評をいただきました。受賞者作品はJPICのWEBサイトにてご覧いただけます。

このコンクールは2023年度も、コミック出版社および出版関連事業者の協力を得てさらに規模拡大し開催してまいります。募集の詳細は予定が決まり次第リリースします。

## 10代の読書フォーラム：座談会 「ヒットマンガの裏側と読書」

今年度の新規事業「10代の読書フォーラム：座談会『ヒットマンガの裏側と読書』」（後援：千代田区・千代田区教育委員会）を、3月4日（土）15時より出版クラブにて開催しました。当事業は、10代の子どもたちにマンガや読書に興味を持ってもらうことを目的としています。

進行のサンキュータツオさん（学者芸人）と、登壇者の林 士平さん（集英社少年ジャンプ+編集部）、原 一仁さん（講談社週刊少年マガジン編集部）による座談会では、マンガ雑誌編集者の普段の仕事、作家とのやりとり、ご自身が子どもの頃に読み10代にすすめたい本を紹介いただきました。



写真右から サンキュータツオさん  
林 士平さん・原 一仁さん

林さんと原さん、2人の仕事机の様子がスクリーンに映し出されると、子どもたちは興奮した様子で眺め、大人たちには熱心にメモを取っている姿が見られ、マンガというコンテンツが世代を問わず高い関心を集めていることがわかりました。

参加者のアンケートでは「普段聞くことがない編集者のお話を伺うことができました。次回があったら友達も誘って参加したいです」「掲載媒体が違って編集者には共通するマインドがあると知った」など子どもから大人までコメントが寄せられました。

JPICでは、2023年度も子どもたちと読書や出版の現場を繋いでいく活動をしてまいります。

## 初の試み「本だなプロジェクト」 10施設にて無事終了

今年度、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」の実現にむけて新たに立ち上げた「本だなプロジェクト」。

9月に全国の子ども食堂、無料塾などに開催を呼びかけ、応募があった50施設から10施設を選定。オンラインによるプロジェクトの説明会開催のち、日本児童図書出版協会、渡辺茂男氏のご家族の協力を得て各施設に約50冊もの絵本を寄贈し、同時に本棚を送りました。

それらの準備期間を経て11月より始まった「本だなプロジェクト」の初日は、各施設で子どもたちが本棚に絵本を入れるところからスタートしました。

施設に読み手がいる場合はその方、おはなし会を初めて開く施設にはJRAC（JPIC読書アドバイザークラブ）より読み手を派遣。JPICの職員も可能な限りおはなし会に立ち合い、活動を見守りました。

各施設ともに計5回（コロナ禍で一部4回もあり）開催されたおはなし会は回を重ねるごとに盛り上がりを見せ、毎回楽しみに来てくれるお子さんや、「自分で読みきかせをしてみたい」と言ってくれるお子さんなど、多くの子どもが集まりました。

「施設の行事の柱として今後もおはなし会を継続していきたい」「子どもたちが本好きとわかった。本棚を追加して本のよさをもっとアピールしていきたい」と、実施施設からは賞賛の言葉をいただきました。

さらにプロジェクト終了後も施設が継続して読みきかせをおこなうなど、「本だなプロジェクト」は地域での拡がりも見せて、3月4日（土）にすべての開催を終了しました。



クリスマスに読みきかせをする  
JPIC読書アドバイザーの諸岡さん

## 2月のJPIC ONLINE

2月11日（土）の「いま読みなおしたい海外児童文学 星の王子さまの祈り～サン＝テグジュペリの時代～」では、フランス文学者で東京大学名誉教授の野崎歓さんと一緒に、今年で出版80周年を迎える『星の王子さま』を時代背景に着目して読み解きました。

18日（土）には季刊誌『この本読んで！』との連動企画として「学びの時間2022 子どもたちの未来とSDGs」と題した講座を、横浜国立大学教育学部教授の松葉口玲子さんをお招きし、子どもたちの“明るい未来”のために大人たちができることについて一緒に考えました。

## 上野の森 親子ブックフェスタ2023 出展者募集中



開催概要・出展申込はJPICのホームページからご確認ください。（出展申込は3月15日まで）

## 横浜市で読書イベント が開催されます

3月18日（土）に、横浜市役所アトリウムにて「よこはま読書パーク」が開催されます（主催：横浜市教育委員会／協力：株式会社有隣堂／受託事業者：JPIC）。

会場では14の出版社、書店、団体が出展し、子ども向けの本を中心とした本を販売するほか、アトリウムステージにて、人気キャラクターの撮影会やポップアップカードを作るワークショップ、紙芝居作家による紙芝居実演会などをおこないます。

そのほか市民協働スペースでは、読む以外のさまざまな形で絵本を楽しむイベント、横浜市中央図書館の移動図書館「はまかぜ号」では通常の貸し出しだけでなく、活字での読書が困難な人向けのアクセシブルな本の展示がおこなわれ、終日、親子で楽しめるイベントが目白押しです。

詳細は「横浜市 読書活動推進 ネットワークフォーラム」をご覧ください。

NEWSについてのお問合せや詳細資料ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。

JPIC HPアドレス：<https://www.jplic.or.jp>

賛助会員様のイベント情報を発信します！